

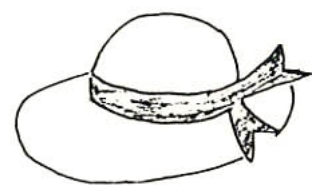
石のひっじだより

NO.1

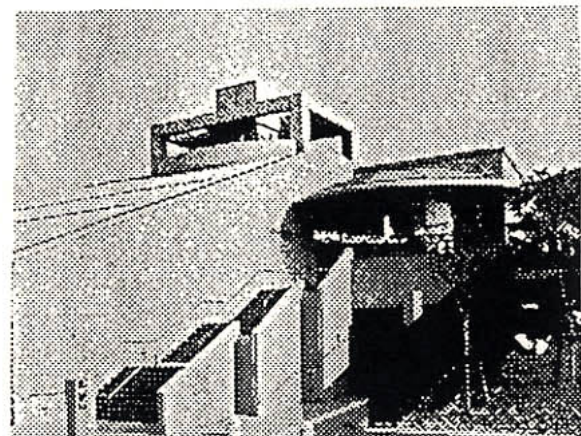
2000.8.1 発行

暑い夏の季節がやってきました。平尾台を彩る花たちも、緑の草原の中から、夏の花々が顔を出しています。

帽子と水筒、タオルを持って、平尾台の散策に出かけて見ませんか？



『平尾台自然観察センター』オープン



福岡県の北九州市、行橋市、苅田町の3区域に所在する平尾台は、北九州国定公園の中心地でカルスト台地など貴重な自然を有しています。『福岡県平尾台自然観察センター』は自然の大切さを理解し学ぶことの手助けする施設として、平成12年5月19日に開設されました。自然界のしくみや動植物と自然保護へ取り組みについて学び自然公園の利用者のマナーを、学ぶところとして多くの人たちに愛用して頂くことを望んでいます。当センターは、バリアフリーの施設と、していますので車椅子などで全館見学できるようになっています。館内は、一階が展示室となっており、自然の音響でお迎えし、平尾台を深く知っていただく

ために平尾台の成り立ち、カルスト地形の成り立ちなどを学びパソコンゲーム感覚で平尾台の散策コースや生態観察、自然図鑑、クイズなど楽しみながら学習ができるコーナーを備えています。

その他にも自然と私たちのつながりなどが学ぶことができます。二階では、福岡県の九つの自然公園と平尾台の自然歩道マップの紹介、自然に関する図書コーナー、約100人収容できるレクチャールーム、30人収容できる研修室などが備えてあり、特にレクチャールームでは平尾台の四季の移り変わりや平尾台の自然の神秘をハイビジョン2本で紹介しています。三階は、360度を見わたせる展望台となっています。素晴らしい台地『平尾台』を知っていただく中核のところとして『平尾台自然観察センター』へのご来館をお待ちいたしています。

- 入館料 無料 ○駐車場 無料(125台分備)
- 北九州市街地より、約20km 車で約40分



館長 青野 清 己

☆イベント情報!

8月5日(土)

「親子ゴミレンジャー」

平尾台のゴミ拾いと自然観察学習

8月6日(日)

「ドリーネ探検」

平尾台に降った雨はどこに流れていくのか?

8月11日(金)

「アートフラワー講座」

平尾台の季節の花々をあなたの手で作ってみましょう。



「平尾台の野草写真展」
当センター1階展示室にて
開催中!!

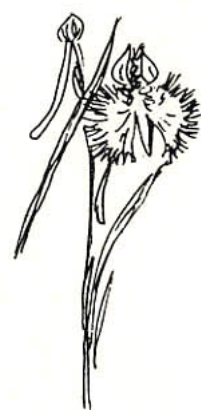


☆絵画・写真展

平尾台を題材にした「写真」「スケッチ」「イラスト」「グラフィック」「俳句」「短歌」「随筆」「書」を募集しています。

詳しくは受付にお問い合わせ下さい。

<平尾台を彩る花々>



サギソウ



カワラナデシコ



キキョウ



ヒオウギ



コオニユリ

福岡県平尾台自然観察センター

〒803-0816 北九州市小倉南区新道寺 3092-2

TEL 093(453)3737 FAX 093-452-3739

<ホームページアドレス>

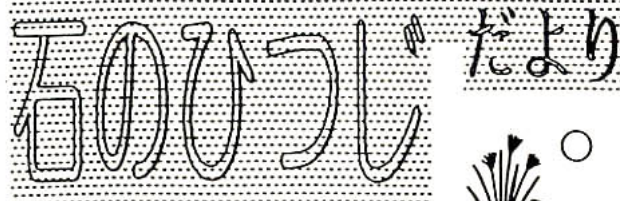
<http://www.hiraodai.co.jp>

〔開館時間〕

9:00~17:00

〔休館日〕

月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)



平尾台の紹介

平尾台は、国の天然記念物・北九州国定公園・筑豊県立自然公園に指定されています。羊群原で代表される半裸出のカルスト地形が、海拔350~600mの台地に形成されています。石灰岩が水によって溶かされて、いろいろな形をしています。羊のようにみえるピナクル、岩の表面には水によって溶かされてできたカレン、大きいすり鉢状のドリーネ、地下には石灰洞があります。

約3億年前、赤道近くの暖かい海にサンゴ礁がありました。そこに平尾台のもととなった石灰岩が堆積した後、プレートの移動によって今の位置までやってきました。

約1億年前のこと地下深くに押し込まれていた石灰岩は、高温のマグマの熱で結晶質になりました。平尾台の西にあった香春岳が大きな断層で切られて、南の方へ約7kmも動きました。その頃、筑豊炭田ができました。

約8万年前、阿蘇カルデラが大爆発をしたとき、阿蘇山からきた大火砕流で平尾台は、おおわれてしまいました。寒かった時代に、日本列島がアジア大陸と陸続きになり、大陸の動植物が平尾台にやってきました。平尾台の長い歴史の中で、いろいろなことが起こり、今の平尾台ができました。平尾台自然観察センターは、自然観察を手助けするためのセンターで、展示室・レクチャールーム・研修室などあり、平尾台の紹介映像や解説資料などが準備されています。

『アートフラワー講座』

開催日; 9月8日(金)

時間; 午前10時~午後3時

対象; 一般 10人

◆《9月の行事》



『星空キャンプと青龍窟探検』

開催日; 9月30日(土)~10月1日(日) ☆ ☆

時間; 9月30日 午前14時~10月1日 午後3時 ☆ ☆

対象; 一般 30人 ☆ ☆



●【平尾台の9月開花】

イタドリ (たで科)

カワラケツメイ (まめ科)

サイヨウシャジン (ききょう科)

シラヤマギク (きく科)

タカネハンショウヅル (きんぼうげ科)

ツルニンジン (ききょう科)

ヒメシオン (きく科)

ヒメシロネ (しそ科)

ツルニンジン (ききょう科)

ノダケ (せり科)

ミゾソバ (たで科)

メドハギ (まめ科)

ヤマヒヨドリ (きく科)



イワギボウシ (ゆり科)

キンミズヒキ (ばら科)

サワギキョウ (ききょう科)

シオガマギク (ごまのはぐさ科)

ツクシゴメグサ (ごまのはぐさ科)

ヒメオトギリ (おとぎりそう科)

ヒナノキンチャクソウ (とうだいぐさ科)

ツリフネソウ (つりふねそう科)

ニッポンイヌノヒゲ (ほしくさ科)

マツバニンジン (あま科)

ミヤマウズラ (らん科)

ヤマハギ (まめ科)



▼《秋の七草》

秋の代表的な七種類の草花。

ハギ・オバナ(=ススキ)・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ。



◆<キキョウ>

“いにしへの秋を今に伝える紫の花”

万葉の昔から、秋の七草として親しまれてきた。その気品のある花は、今も変わらず人々に愛され続けています！

キキョウは、日本、中国東北部、朝鮮半島などに自生する在来種で古くから親しまれていた花です。秋風が立つ頃に開く、青紫色の清楚な花や、紙風船のように膨らんだ可憐なつぼみが好まれている。蒔絵や屏風、着物の絵柄としても多く用いられ、日本人の暮らしを彩ってきました。尾形光林の筆による「秋草文様描繪小袖」(江戸時代)にも繊細なキキョウの花姿が見られます。また、花の形が明快なことから、家紋のモチーフにも使われています。本能寺の変で織田信長を討った明智光秀の「水色桔梗」は特に有名です。



石のひびき だより



平尾台の歴史

福岡県の古い岩石から!	古生代末に変成を受けました。 ^{さんぐんへんせいがん} 三郡変成岩・北九州から中国地方東部にかけて分布する岩石です。 ^{せんぶつ} 千仏鐘乳洞周辺のものには千仏石と呼ばれています。
北九州市の古い岩石!	約3億5千万年前に堆積した岩石で、アンモナイトも見つかりました。 ^{ばいかせき} 門司区の梅化石は、ウミユリの化石です。
サンゴ礁だった!	約3億年前、赤道付近にサンゴ礁がありました。その一部に平尾台をつくらせた石灰岩がたまりました。その後移動し、中生代のはじめには今の位置になりました。
大きい湖があった!	白亜紀の頃、福岡県から山口県にかけて大きな湖がありました。湖に溜まった小石の中に、平尾台の石灰岩をつくらせた生物の化石が見つかりました。
サンゴが消える!	約1億年前、平尾台石灰岩は地下深くにありました。高温のマグマで ^{ぬきさん} 貫山や ^{かんにゅうがん} 貫入岩ができました。そのとき石灰岩の中の化石はなくなりました。
香春岳よさようなら!	昔、 ^{かおらだけ} 香春岳は平尾台と連続していました。南北に走る大きな断層が生じ、約7km移動して今の位置になりました。断層で出来た階段状の地形が ^{おふね} 龍ヶ鼻にあり、この地形を「御船」といいます。
洞窟ができた!	数百万年前、平尾台はほぼ現在と同じ地形をしていました。カルスト地帯特有のドリーネや石灰洞ができました。
阿蘇山の大爆発!	約8万年前、阿蘇カルデラが大爆発をして ^{だいかさいりゅう} 大火砕流が発生しました。火砕流の一本が ^{きべとうげ} 金辺峠の方からやってきて、平尾台をおおいつくしました。
狩りをしてきた人々!	縄文時代の人々は、夏、平尾台で狩りをしました。シカ、イノシシ・オオツノジカやナウマンゾウなどがいました。

☆イベント情報☆

10月6日(金) (10:00~15:00)

「アートフラワー講習会」

平尾台の花々を私達の手で再現してみましょ。

10月22日(日) (9:00~16:00)

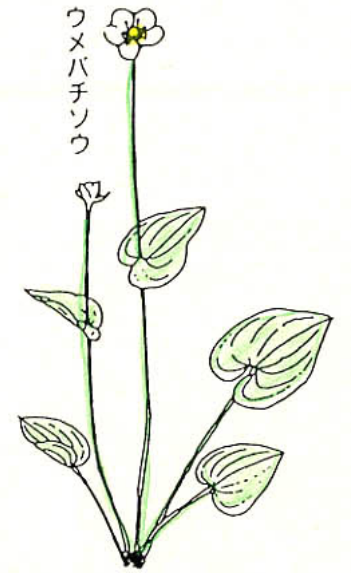
「秋の平尾台散策ツアー」

平尾台観察センターの館長と平尾台を歩こう!

10月28日(土) (17:00~24:00)

「平尾台天体観測」

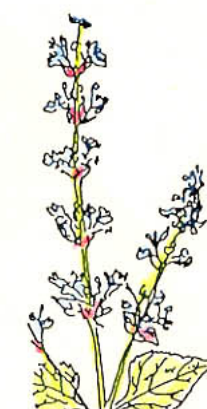
土星の輪を見よう!夏から秋に変わる星座を観察しよう。



《平尾台を彩る花々》



リンドウ



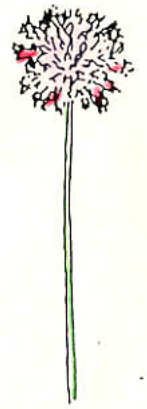
ヤマハッカ



センブリ



カワラノギク
(ヤマジノギク)



ヤマラッキョウ

〈リンドウ〉

日当たりの良い山野に生育。花は紫色。根を乾燥したものを「竜胆」といい、漢方薬になる。

〈センブリ〉

日当たりの良い草地に多い二年草。花は白色に紫の条線。日本名「千振」は煎じて千回振り出してもまだ苦味が残るといふ意。

【平尾台マメ知識】

Q: 国立公園と国定公園の違いは何?

A: 国立公園は国の環境庁が指定し管理しています。国定公園は都道府県が申請し、国の環境庁が指定し、都道府県が管理しています。ちなみに、県立自然公園は知事が指定し管理しているところです。平尾台は北九州国定公園と筑豊県立自然公園です。

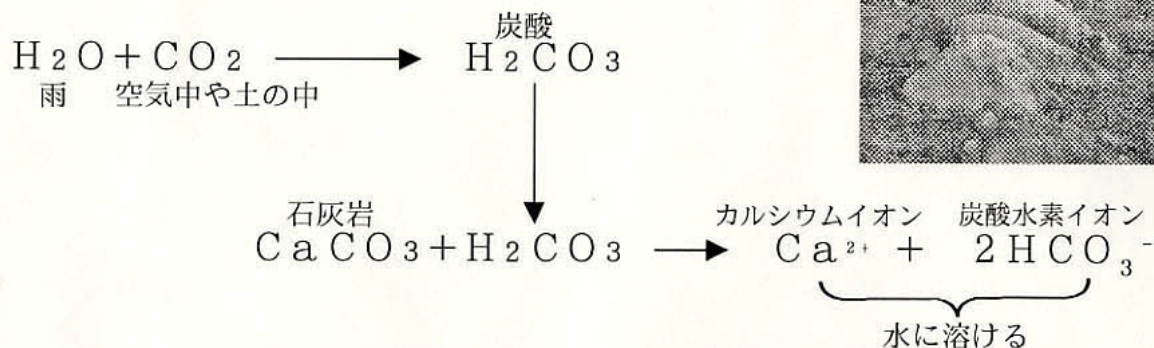
石のひっじ だより

《平尾台の地形》

平尾台は秋吉台とならんで温帯カルストの代表地で、国の天然記念物、とても貴重な地形です。

では、カルスト地形とは何？

石灰岩は酸性の水に溶けます。



〔地表地形〕・雨水や地表水によって石灰岩が溶けて溶食地形ができます。

○凹地形：石灰岩が溶けてできたすり鉢状や溝状の地形です。

・ドリーネ、ウバーレ、カレン

○カルスト台地の川：カルスト台地に海や湖にそそぐような川はありません。

○凸地形：溶け残った石灰岩で、ピナクル(石灰岩柱)があります。

〔地下地形〕・地下にしみこんだ水によって石灰洞が出来たり、地下川が流れたりします。

○石灰洞：洞窟のようなカルスト特有の地下の空洞です。

○地下川：地表からしみこんだ水が地下に川をつくります。

ピナクル

地表に溶け残った石灰岩。

ドリーネ

石灰岩が溶けて出来たすり鉢状のくぼ地。



カレン

ピナクルとピナクルの間にある大きな溝状のもの。ピナクルの表面にできる小さな溝状のものもある。

平尾台のピナクルは何故丸い？

平尾台のピナクルは秋吉台のピナクルと違って何故丸いのでしょうか。それはマグマの熱で石灰岩が結晶質石灰岩(大理石)に変成したからです。(このとき石灰岩の中にあった化石もなくなってしまいました。)

このため頂上部分が風化され、丸いピナクルになったのです。

★イベント情報

11月3日(金) 10:00～15:00

「アートフラワー講習会」布切れと針金を使って、平尾台の花々を再現してみましよう。

11月17日(金) 17:00～24:00

「しし座流星群観察」しし座流星群をメインに星降る平尾台の夜を楽しもう。

11月19日(日) 9:00～16:00

「ススキの平尾台散策ツアー」一面のススキが原を歩きながら晩秋の平尾台を満喫しよう。

11月25日(土) 9:00～16:00

「平尾台アースアート講習会」枯葉や蔓でクリスマスリースを作ろう。(県道より西側で採取)

【平尾台を彩る花々】



ノコンギク(キク科)

晩夏から秋にかけて多数の紫色の頭花を散房状につける。「ノコンギク」は野にある紺菊の意。



ツツブキ(キク科)

10月頃黄色の頭花を散房状につける。葉柄を食用、薬用にされるが普通は観賞用に栽培し、種々の園芸変種がある。



ハバヤマボクチ(キク科)

晩秋に大型の頭花を枝の先にややうつむいて着ける。頭花は径3～4cmで開花するとまゆはけの形に似ている。



エゴマ(シソ科)

夏から秋にかけて枝先に総状の花穂を出し、白色の小さな唇形花を密につける。全体に特有の不愉快な臭気がある。



キチジョウソウ(ユリ科)

晩秋葉束の間に短い花茎を出し、まばらに淡紫色の小花を総状につけ、直立するが、葉よりずっと短い。日本名「吉祥草」は、栽植している家に吉事があると花が開くと言う伝説から、吉祥とはめでたいというのでつけられた。

《平尾台マメ知識》

Q:天然記念物って何ですか？

A:学術上価値の高い動物、植物、地質鉱物(それらの存在する地域を含む)で、その保護保存を主務官庁から指定されたものをいいます。1919年(大正8年)に史蹟名勝天然記念物保護法が公布され、1950年(昭和25年)に文化財保護法が制定されました。(広辞苑より)

ちなみに、平尾台は1952年(昭和27年)に天然記念物に指定されました。平尾台の中でも千仏鍾乳洞、青龍窟も天然記念物です。

《平尾台の洞窟》

カルストの地下地形の代表が石灰洞です。平尾台には約150の洞窟が知られています。洞窟からは多くの動物化石が出土しています。

では、平尾台の代表的な洞窟を紹介しましょう。



千仏鍾乳洞

長さ716mほどの典型的な地下川タイプの洞窟です。洞奥では水の中を探検気分でジャブジャブ歩けます。



牡鹿洞

長さ403m、高低差48mです。日本では珍しい洞口部分が堅穴の観光洞です。カルストの内部がよくわかる典型的な洞窟です。ここからはニホンカワウソ、ムカシニホンジカ、ナウマンゾウ等の化石が見つっています。



目白洞

平尾台最長の洞窟です。一部が観光化されていて二次生成物や溶食形態がきれいです。ここからはナウマンゾウ、オオツノジカなどの化石が見つっています。(長さ2160m)

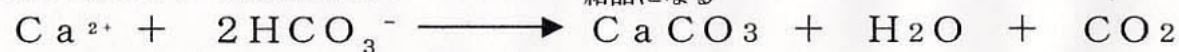


青龍窟

長さ約2000mです。日本でも有数の曲流現象のある洞窟です。ここからはステゴドン、ナウマンゾウ、オオツノジカ等の化石が見つっています。
*観光洞ではありませんので入洞には要注意！

【鍾乳石の出来方】

カルシウムイオン 炭酸水素イオン



炭酸カルシウムが
結晶になる

↑ 洞窟の空气中に逃げる

ストロー（管状鍾乳石）

洞窟の天井の水が滴るところに出来る。石灰質を含んだ水が表面に出たところで、二酸化炭素が空气中に逃げるためそこに石灰石が沈積します。

つらら石

ストローが発達したもの。

石柱

つらら石と石筍がお互いに発達してくっついたもの。

石筍

下に石灰質を含んだ水が滴り落ちて固まり積もって筍状になったもの。

★イベント情報

12月1日（金）「アートフラワー講習会」

布切れと針金で正月飾りを作りましょう。

新世紀幕開けイベント！

平成13年1月1日（月曜日）

「初日の出ハイキング」

○集合：午前5時 解散：午前9時

○対象：一般50人（小学生4年生以上）
夜明けの暗闇道を1時間程度登山します。

○申込み・締切：往復ハガキ・12月24日

■第1回「私の平尾台作品」ご応募ありがとうございました！■

第1回「私の平尾台作品」は好評のうち終了させていただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

【応募いただいた方々】

原田 博さん（写真） 中山 昭さん（写真） 大津 正義さん（写真）

橘 タカ子さん（写真） 東 宗男さん（俳句） 平尾分校の生徒さん（児童画）

ひよんの実句会の皆さん（俳句）



第2回も続々と応募作品が集まってきています。

ただいま1階展示室とロビーに作品を展示しています。

《平尾台マメ知識》

Q:平尾台の帯状の草を刈った跡があるのは何故ですか？

A:それは防火帯です。平尾台は2月に野焼きをします。その火が、他に燃え広がらないようにする為のものです。

吹上峠～上穴下穴～周防台～三笠台～内ノ蔵まで全長7,200m、面積132,000㎡になります。